

4月 ほけんだより

新学期が始まって約3週間、新しいクラス・友達・先生・・・など気持ちを新たに頑張ってきて、そろそろ疲れが出てくる時期でもあります。また、朝夕と昼間の気温差もあり、体調管理が難しいですね。だからこそ、生活リズムを崩さないことが大切です！この3週間の生活リズムがゴールデンウィークで崩れないよう、連休中もメリハリのある生活を心がけてくださいね。

保健室利用のルールを守ろう

- ① 学校生活で体調が悪くなったり、ケガをした等の理由で保健室へ来る場合は、必ず授業の先生に「保健室来室カード」に記入してもらい保健室へ来てください。緊急の場合は内線で連絡してもらいます。
- ② 休養は、原則2時間までです。回復しない場合は担任に相談し、保護者に連絡する場合があります。発熱等の症状や大けがで病院受診が必要と判断した場合は、すぐに保護者へ連絡します。
- ③ 保健室には飲み薬はありません。持病のある人は普段飲み慣れた薬を持参しましょう。

生徒指導通信

～やってやれないことはない、
やらずにできるわけがない～

初めましてと今年度もよろしくお願ひいたします！

今年度も生徒指導主事となりました、重村智博です。昨年に引き続き、よろしくお願ひいたします。吾田中学校5年目になりました。教科は数学、サッカー部の顧問をしております。ご存じの方も多いかと思いますが・・・好きな色はピンク、好きな言葉は「本気」です！

今年ももちろん、僕はピンクのものを身に付けて、自分に矢印を向けて、何事にも熱く、本気で精一杯やっていますので、どうぞよろしくお願ひします！

さて、早速ですが、今年の生徒指導スローガンを立てました。



THANKS

「本気」
中学校生活の
意義、価値、良さを味わう。
「ONE TEAM」
吾田中生徒、保護者、職員みんな
同じゴールを目指す。
「THANKS」
感謝の気持ちを礼儀で示す。

が意欲的に取り組みます。よって、「本気」になりやすい。でも、勉強することや掃除をすること、苦手な物に向かうときこそ、成長のチャンスや価値があるのではないかと思います。そこで「本気」を出せる人になってほしいです。それが「本気」というものなのだと思います。そして、それは子ども達だけでなく、保護者、職員みんなで、その思いを一つにし、子どもの成長を見守ることが大事です。何気ない普通の学校生活の小さな変化、気付き、感動を大事にし、子どもを吾田中を伸ばしていきたい☆彡

さらに、今回は「THANKS」という言葉も付け加えました。スローガンに書いているように「感謝の気持ちを礼儀で示そう」というものです。

昨年1年間、色々な場面で生徒に話しをすることがありました。もちろん中学生ですので、過ちを犯したり、トラブルがあったりするの当たり前のことです。その経験が彼らを大きく成長へと導くこともあります。ただ、同じ事が繰り返されたり、解消されない問題もありました。そのときに苦しい思いをするのは、見守ってくれる保護者の方であったり、寄りそう僕ら教師であったり、周りの仲間であったり。僕らもですが、何気ない生活は、多くの人の支えがあって、努力があって成り立っているものです。そこに、心を向け、感謝の気持ちを忘れないことが大事だと思います。そして、その感謝の気持ちは、思っているだけでは伝わりません。それを、礼儀として示すことが大事です。感謝の気持ちを「挨拶」で示す、「掃除」で示す、「勉強」で示す、そして「家での手伝い」で示す。色々な方法で「感謝の気持ちを礼儀で示す」を実行してほしいです。感謝の気持ちにあふれる吾田中を目指していこうと思い、「THANKS」を加えました。

さあ、いよいよ始まりました。これからまた、全校生徒に色々な想いを伝えたり、話をしたりできるのだと思うと、ワクワクしております。どんな1年になるのでしょうか。1年生は吾田中に入学してよかったと思える、2年生は中学校の良さを感じ成長いっぱい、3年生は惜しまれながら感動の卒業を迎える1年間となるよう精一杯「本気」で過ごしていきたいと思ひます。明るく、楽しく元気に一生懸命にやらさせていただきます。よろしくお願いいたします！

保健室利用状況(4月7日～25日)

	内科	外科	合計
1年	9	1	10
2年	7	4	11
3年	16	4	20
合計	32	9	41

まだ活発に活動していないのか外科が少ないです。内科の症状として頭痛や腹痛が多いのですが、中には「疲れた」と新学期疲れを訴える人もいました。

【健康診断、まだまだ続きます】

健康診断の目的は・・・

- ① 自分の成長や健康状態を知る
- ② 病気の疑いがないかを調べる
- ③ 自分の体や健康に関心をもつ



自分の体をよく知ることは、自分の体を大切にすることにもつながります。健康診断をしっかり受けて、不調があれば早めに診察を受け、勉強や運動で十分な力を発揮できる体の状態にしましょう。



昨年1年間、生徒指導主事として子ども達の様子を見てきたのですが、真面目に素直に学校生活を送ることができていたのではないかと思います。中でも、行事等に対しては、学級や学年の和を大事にできる子が多く、ほとんどの子が「本気」で取り組むことができたと思います。どの行事も、心動かされる、素晴らしい行事を作り上げることができました。しかし、「本気」に対してはまだまだ物足りなさを感じる部分もあります。行事ではその思いを表現する事ができるのですが、普段の授業中の返事や反応、そして目の輝き、掃除に無言で黙々と取り組むことができるかなどは、まだまだ改善の余地があるのではないかと思います。行事などは、ほとんどの生徒